

陸平通信

OKADAIRA 2015年6月1日発行
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359
美浦村文化財センター (陸平研究所)
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

第Ⅱ期 83号



口笛奏者の柴田晶子さん。会場に響きたる口笛の音色に感動。

新緑につつまれた 陸平貝塚！



バイオリニストの山崎響子さん。クラシックの世界に引き込まれました。



粘土コネコネ、土管作り



コロコロ、どんぐりクッキー作り



大々的に竪穴住居を修理しました！



ゴジゴジこすってまが玉作り



トントン、さき織り

この春、陸平貝塚公園には、文化財協力員による復元竪穴住居の修理はじめ、陸平貝塚の保存と活用を未来に伝える記念碑建立、ゴールデンウィーク中の体験イベント「縄文体験の日」、古代米の田植などで、多くの人々が訪れました。

また、陸平をヨイショする会は、発足20周年を記念した第18回縄文の森コンサート「口笛とバイオリン夢の協演」を開催しました。同会は長年にわたる陸平貝塚でのボランティア活動が高く評価され、文化財保護・活用・普及に貢献してきた人に贈られる“和島誠一賞”を受賞することが決定しました。



古代米田植え

さる5月12日、陸平貝塚公園内の田んぼで安中小学校5年生の児童が、陸平をヨイショする会と一緒に田植えを行いました。初めはぬかるんだ土に足を取られ、悪戦苦闘していましたが、徐々にスピードアップ！田植えのあとはオタマジャクシ探しや田んぼの生き物観察など、陸平の自然を存分に味わいました！

居を修理!

この春、陸平貝塚にある復元
 竪穴住居は文化財協力員の皆さ
 んにより上屋部分の修理がおこ
 なわれました。

近年、竪穴住居の表面に出て
 いる上屋のカヤが経年により
 減ってきていたこと、カラス
 など鳥がカヤを抜いてしまうこ
 ともあり、そろそろ修理が必要
 な時期となっていました。年初
 めの今年1月には材料となるカ
 ヤを用意し、3月末から4月初
 めに作業をおこなうことになり
 ました。しかし、今年の4月は
 例年になく雨の日が多く、思っ
 ように作業の進まない日が続
 き、修理完了は4月の末となり

ました。

さて今回の修理ですが、昔
 であるカヤを取り替えるのでは
 なく、表面に出ていない部分の
 カヤを引っ張り出し、新たなカ
 ヤをサンドイッチ状に入れてい
 くという方法で、使える材料は
 極力使うことにしました。天井
 部分に関しては新しいカヤや竹
 に入れ替えました。

カヤの差し込み方や形の整え
 方など、経験がないとなかなか
 できない作業ですが、経験者指
 導のもと、やり方をおぼえなが
 ら文化財協力員の皆さんは、無
 事自分たちで上屋の修理を終え
 ることができました。



① 1月、浮島からカヤを運びました。



② 地面側からスタート!奥のカヤを引き出し、竹で開いて新
 なたなカヤの束を差し込みます。



③ 下から始まり、中段にさしかかってきました。ひたすらカ
 ヤを引き出し、新たな束を差し込んでいきます。



④ トントン、トントンとガギという道具で叩いていくと、で
 こぼこの表面がなだらかになっていきます。



⑦ 上の方まで竹で足場を組み、新たなカヤを入れ、ここでも
 トントンとたたいて全体を整えていきます。



⑥ 天井部分にやってきました。屋根を開いて古いカヤを外し
 ています。



⑤ 次第に位置が高くなり、竹で足場を作り、上段へ進みます。
 竹で隙間を作る人、カヤの束を渡す人、カヤを引き出して
 差し込む人、チームワークが大切!

復元竪穴住



⑪ さあ、完成です！カヤでふっくらとした外観の竪穴住居に復活しました！



⑩ 最後は表面を刈って全体を整えます。これで雨漏りも防ぎ、また、竪穴住居の外観がこれで決まります。なかなか難しく、経験と技術が必要でした！



⑨ 天井部分は十分に厚くカヤを葺いてから作った押木をかぶせてしっかりと固定させます。天井部分の作業は約2日かかりました。

竪穴を作り、管理し、修理まですべて自分たちでおこなっているところはなかなかありません。地域住民の皆さんの陸平貝塚への関心や、復元竪穴住居を大切にしようという思いが、ほかの地域にはない、陸平ならではの竪穴管理につながっているのでしょうか。これからもみんなで大切に復元竪穴住居を管理・活用していきましょう。

陸平貝塚見学の際には、どうぞ竪穴住居もご覧ください。竪穴管理に興味のある方は、文化財協力員として管理に携わることが出来ます。詳しくは文化財センターにお問合せください。



⑧ 天井部分にかけるマダケの押木を作っています。

萱葺き屋根修理に寄せて

平成14年7月、陸平ボランティア育成会が結成されると共に竪穴住居建設プロジェクトチームがスタートしました。それまで復元住居の要望も多くありましたが、単なる手伝いではなく、復元を通じて自分たちの手で地元の歴史を明らかにしていくことが目的でした。

基本方針としては、A貝塚北東から発掘された縄文時代中期の「第2b住居址」を復元のモデルとし、基礎となる大きさ、形等々忠実に復元することでした。

したがって木材やその伐採も石斧など使用。総べてが当時の物を考え、我々の気持ちも縄文人のつもりで復元に当たりました。屋根については上屋を支える柱穴が壁より内側で壁

◀住居の骨組み作り (平成15年)



竪穴住居の復元は ▶ 竪穴掘りから始まりました (平成15年)



柱材のクリの皮をはぐ堀越さん(左) (平成15年)

文化財協力員 堀越 實

立ちでないと判断。土葺きを説明する痕跡もないため、草葺きと決定しました。萱葺きの方法については耐久性のことを考え、段葺きにせず本葺きとしました。

平成15年12月の完成から12年5か月経過したわけですが、屋根の修理は今回で2回目、後1回はさし茅だけで済みました。長持ちしている一つの理由は、隔週、文化財協力員の交替による燻蒸にあると思います。

〈未来につなぐ今後の課題〉

- ・ 関心ある人材の育成
- ・ 茅葺きの技術の伝承・研修
- ・ 建築資材の調達（育成と保存）
- ・ 栗の木（山栗）種子からの育成
- ・ カヤの調達
- ・ 縄の材料はじこfionaか

夏の文化財センター体験ご案内



竹の楽器

楽しいひとときを文化財センターですごしませんか！体験はいつでもお申込みいただけます。皆さまの参加をお待ちしております。

申込・問合せ ▶ 美浦村文化財センター ☎ 029-886-0291

	開催日	時間	体験メニュー	所要時間	体験料	各日の受付時間
7月	26日(日) 28日(火)	9:30~15:30	縄文土器	4~5時間	800円	11時まで
			ミニ土器	2時間	400円	13時半まで
			土笛	1時間	300円	14時半まで
			縄文クッキー	1時間	100円	14時半まで
			まが玉	1~2時間	200円	14時半まで
	さき織り ※事前申込み不要	1時間	500円	14時半まで		
	28日(火)	① 10:00~ ② 13:30~	竹を使って楽器を作ろう	2時間	300円	

※縄文土器と土笛は後日、お引き渡しになります。

※さき織り体験について

小学生は、はたおり機に足が届かない場合、体験はできませんので予めご了承ください。
裂いた布をお持ちいただいで織ることもできます。材料なくなり次第終了となります。

【連続講座】 ハナリナを作って吹いてみよう (全2回) 講師：オカリナアートJOY 野口喜広

開催日	時間	内容	体験料	募集人数
7月 30日(木)	13:30~16:00	①ハナリナの成形	1,000円	先着 15名
8月 20日(木)		②講師による演奏&焼きあがったハナリナを吹いてみよう		

※連続講座の申込みは7/26まで。申込者6名以上で開講。

♪ハナリナってなんだろう？♪



ハナリナは鼻息で鳴らすユニークな楽器です。音域は1~2オクターブくらい。音の高低は口の中の大きさを広げたり、せばめたりして変化させます。音を出すコツがわかれば、鼻歌を歌うような感覚で演奏することができます。チャレンジしてみませんか！子どもから大人まで楽しめます！



文字を読んでみよう！

ワンポイント 古文書講座

古文書って難しそう！何が書いてあるのかさっぱりわからない！そう思っている皆さん！たった一五〇年くらい前の人は普段目にしてきた文字だったんですよ。ちよつと読んでみませんか。

美浦村文化財センター

大谷村

谷中村

山内村

陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car
常磐自動車道「桜土浦IC」より
国道125号バイパスで約40分
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus
JR土浦駅より西口①バスのりば
木原経由江戸崎行き
「谷津入」下車 タクシーで約5分
または「大谷」下車 3.5km